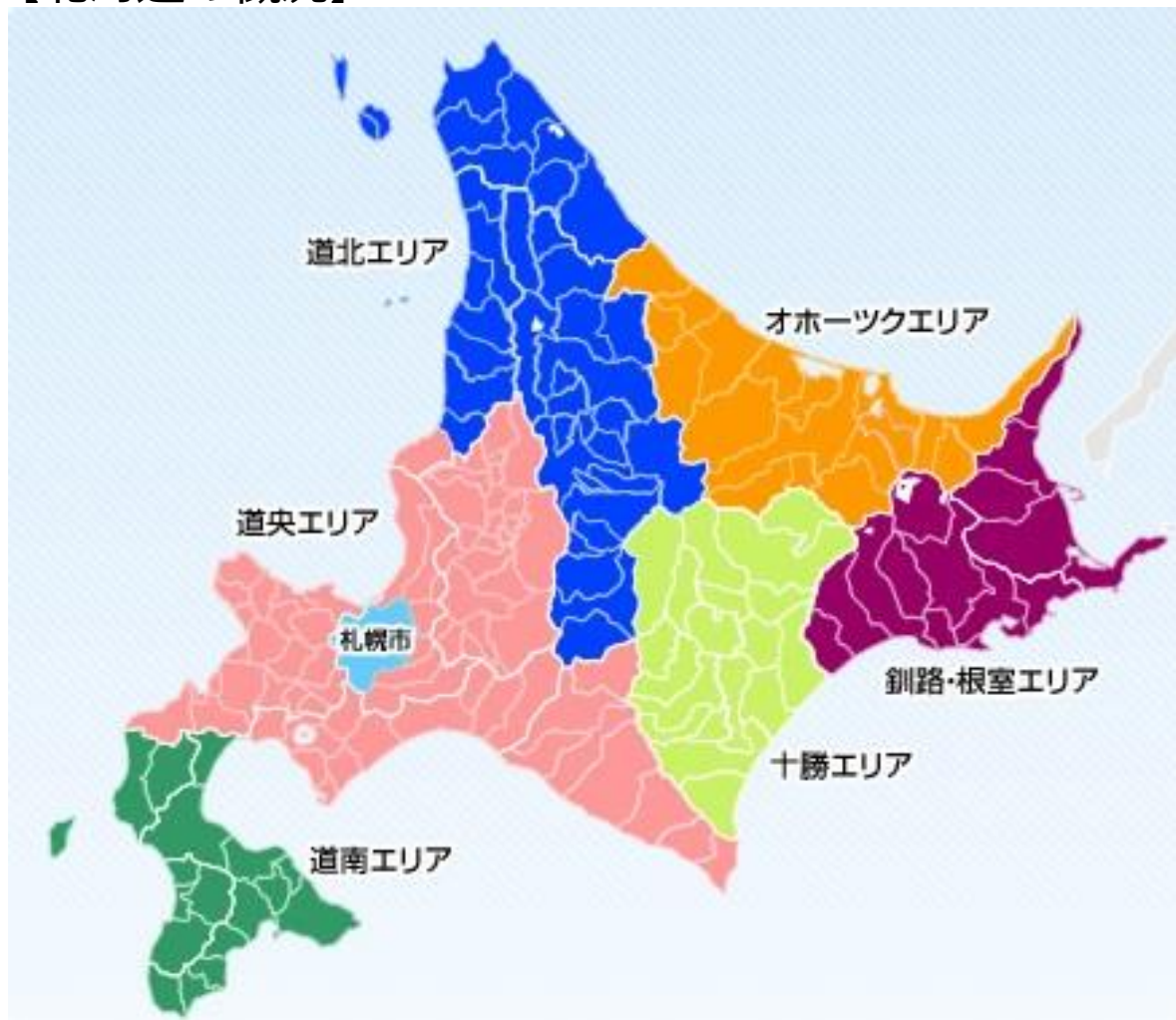


## IV. 事例紹介「健診・保健指導事業推進のための効果的な研修について」 ～北海道との連携による保険者支援をとおして～

北海道国民健康保険団体連合会総務部  
中港 晶子

### 【北海道の概況】



総面積: 83,457km<sup>2</sup>  
人口: 5,316,576人(H30.3)  
高齢化率: 29.1%(H27国勢調査)  
市町村数: 179  
第三次医療圏: 6圏域  
北海道立保健所: 26か所

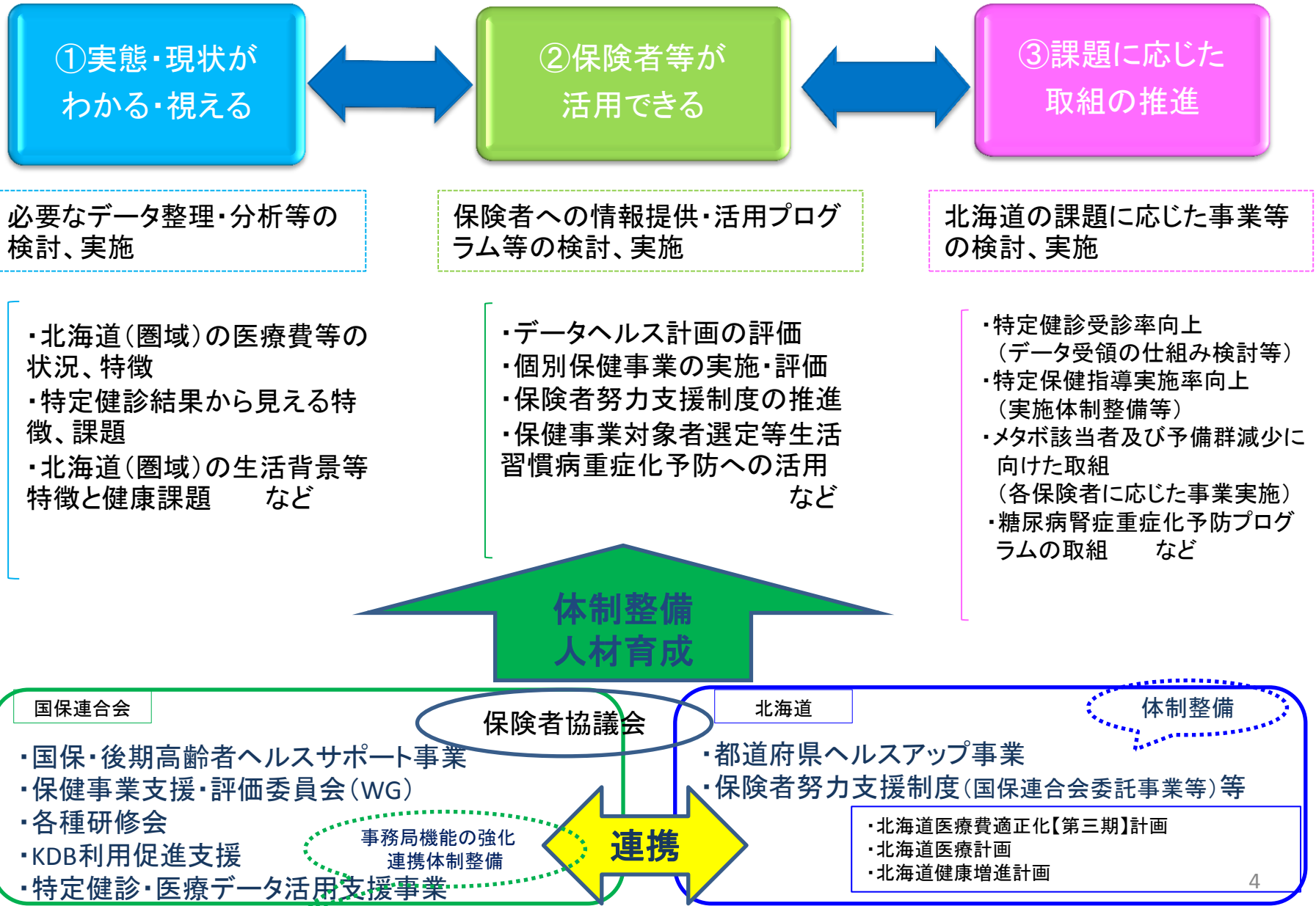
## 【背景・現状】

- 北海道内市町村では、衛生部門がデータヘルス計画策定に携わる割合が高く、特に小規模市町村の限られた人員の中で、データヘルス推進に係る国保部門と衛生部門の連携体制づくりは課題である
- 特定健康診査、特定保健指導の市町村直営での実施が多く、保健師の欠員を抱える状況がある中では、質の向上に向けた研修体制等人材育成、効率的な実施体制整備は継続的な課題となっている
- 特定健康診査実施率は、北海道全体、国保でも低く、特定保健指導実施率は、北海道全体で低く、メタボ減少率も高くはない状況である

## 【背景・現状】

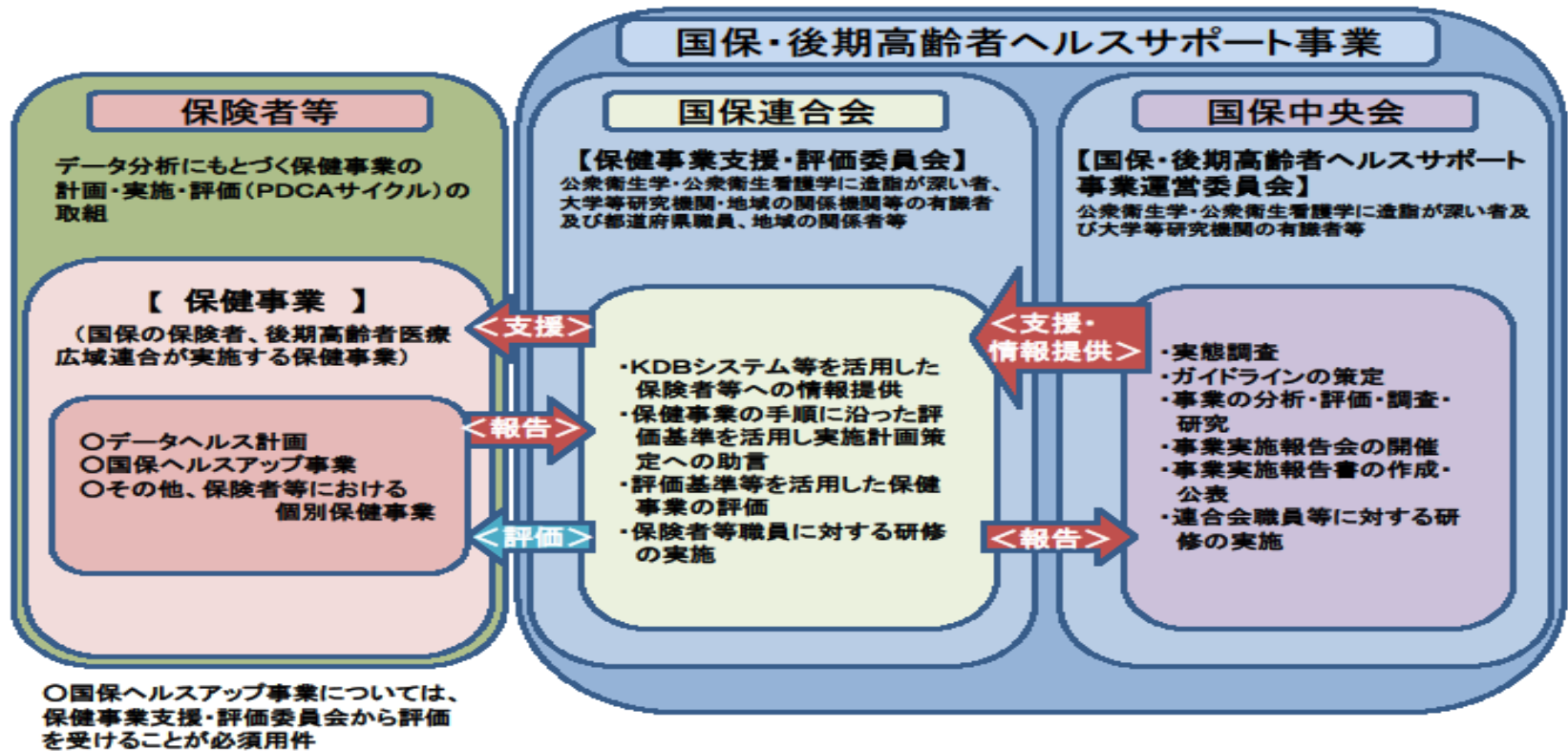
- 平成30年度から都道府県が国保の財政運営の責任主体として、医療費適正化計画、医療計画、健康増進計画にまたがるデータヘルス推進に向けて、取り組みを効果的にすすめるための基盤整備などが求められる
- 179市町村を有する北海道においては、地域実態に応じた広域的な観点や人材育成も含めた多面的、継続的な支援のために道立保健所による生活習慣病や健康づくり対策への一層のサポートが重要となる
- 保険者努力支援制度等これまで以上に医療費適正化が求められることから、市町村及び北海道国保全体の保険者機能強化に向けて、北海道と連携した効果的、効率的な保健事業実施への支援体制整備が必要である

# 保険者機能強化に向けた北海道との連携による保健事業等の展開



# 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業

## 【国保・後期高齢者ヘルスサポート事業】



### 【目的】

国保・後期高齢者ヘルスサポート事業では、過去の事業の経験を踏まえ、各都道府県国保連合会に、有識者等からなる支援・評価委員会を設置し、委員が保険者に対して助言、支援をしている。これにより、保険者がPDCAサイクルに沿った効率的、効果的な保健事業を展開できることを目的として実施している。

# 北海道国民健康保険団体連合会 保健事業支援・評価委員会について

## 平成30年度の方向性

- 1 支援対象保険者のニーズに応じた各種手法による効率的、効果的な支援
- 2 **北海道（保健所等）との連携強化による保険者支援体制の整備**
- 3 支援の展開をとおり知見を蓄積、整理、視える化
- 4 保険者の課題等に応じた学習機会の継続

# 北海道国民健康保険団体連合会 保健事業支援・評価委員会について

## 具体的な取り組み

### 2 北海道（保健所等）との連携強化による保険者支援体制整備

- ・ データヘルス計画未策定保険者等への保健所等との協働による支援
- ・ 保険者支援における保健所との連携体制の強化
- ・ 北海道のKDB等データ分析、活用データ検討及び情報提供
- ・ データ分析や健康課題に応じたデータヘルス計画策定、個別保健事業の運営、評価等に対する支援スキルの向上、支援体制整備等事務局機能の強化

### 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業

保健事業支援・評価委員会

地域診断

個別支援

新 ワーキンググループ

新 グループ支援

新 地域診断報告会

集合研修（新 DH推進研修会等）

データヘルス計画  
策定・推進

個別保健事業評価・  
事業実施

KDBシステム利用促進支援

特定健診・医療データ活用支援事業

生活習慣病対策推進事業～H30

各種研修開催・派遣研修

支援

保険者（市町村等）

国保ヘルスアップ事業



### 国保・後期高齢者ヘルスサポート事業

#### 保健事業支援・評価委員会

ワーキング  
グループ

グループ支援

個別支援

新 モデル地区(地域診断・  
個別保健事業実施・評価等)

集合研修(新 DH推進研修会等)

北海道内  
データ分析

データヘルス計画  
策定・推進

個別保健事業評価・  
事業実施

KDBシステム利用促進支援

特定健診・医療データ活用支援事業

生活習慣病対策推進事業～H30

各種研修開催・派遣研修

支援

北海道

連携支援

国保ヘルスアップ事業

保険者(市町村等)

## 北海道との連携の実際について①

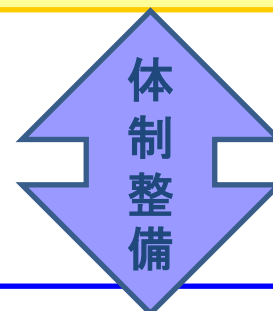
- 保健事業支援・評価委員会委員の選定
- 各種保健事業への道立保健所の参加協力
- 研修会への北海道、道立保健所職員の参加
- 保健事業支援・評価委員会での道立保健所との連携による支援体制づくり（モデル地区支援）

## 北海道との連携の実際について②

- 道立保健所との共催による研修実施
- 北海道（各関係課）、北海道看護協会との研修に係る情報共有と周知協力
- 北海道との共催による人材育成に係る研修企画、実施、評価

# 北海道国保連合会研修予定（平成30年度）

## 効果的な保健事業



- 北海道市町村保健師リーダー研修会
- 市町村新任保健師研修会
- 市町村保健活動研修会

# 平成30年度北海道国保連合会研修会①（保健事業課）

研 修 名	対 象	概 要
データヘルス推進研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国保・健康づくり部門の実践レベルの担当者（保健師・栄養士・事務職）</li> <li>○ヘルスアップ事業実施保険者</li> <li>○その他の支援対象保険者</li> <li>○道国保医療課・地域保健課、道立保健所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2期データヘルス計画におけるPDCAサイクルに基づく保健事業展開、評価、課題の解決と効果的な保健事業推進について具体的な理解を深める</li> </ul>
国保保健事業・健康づくり担当課長及び係長合同研修会（後期広域連合・道保協と共催）	国保担当課長・係長 健康づくり担当課長・係長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康施策企画立案担当者が、生活習慣病予防対策に必要な知識と施策立案機能を習得し、庁内外の体制整備をすすめ、地域の実態に応じた生活習慣病予防対策の推進を図る</li> </ul>
生活習慣病予防対策担当者研修会	市町村栄養士・保健師・事務職	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣病予防対策に必要な専門的な知識・技術の向上を図る</li> </ul>

## 平成30年度北海道国保連合会研修会②（保健事業課）

研 修 名	対 象	概 要
北海道市町村保健師リーダー研修会（北海道と共催）	市町村・保健所のリーダー保健師	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村と道立保健所の保健師のリーダーが、行政保健師の果たす役割の重要性を認識し、効果的な保健師活動を展開していくためにリーダーとしての資質の向上を図る</li> </ul>
市町村保健活動研修会	市町村保健活動の実践者	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村保健活動が効果的・効率的に推進されるよう、行政の様々な部署で働く保健活動実践者の有機的な連携と、地域全体の健康づくりを実践する体制整備の推進を図る</li> </ul>
市町村新任保健師研修会	行政に就職し、1年目～3年目までの新任保健師	<ul style="list-style-type: none"> <li>新任期の保健師が、公衆衛生看護をベースにした保健師活動の本質を理解し、専門性を駆使した市町村保健活動の実践者としての力量を高める</li> </ul>
ブロック研究会（釧路）	ブロックの市町村 国保、衛生部門専門職・事務職 道立保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>市町村保健活動の果たす役割や、今後の推進方策を地域特性に応じて会員相互で研究し、ブロック内の組織強化を図る</li> <li>平成29年度は宗谷ブロックにて地域診断をテーマに稚内保健所の管轄別研修会と共催した。平成30年度も道立釧路保健所と共催で地域診断をテーマに実施予定</li> </ul>

# ブロック研究会「市町村保健活動研究会in宗谷」

背景	道立稚内保健所が管内市町村へのデータヘルス計画策定支援を行うにあたり、市町村において地域診断に取り組む必要性があり、そのためには所属の衛生、国保部門等から複数参加による学習が必要となること、研修後の道立保健所の継続支援が必要であることなどから、地域に向き、道立稚内保健所との共催による研修を実施することとなった
研修目標	(1) データを活用した地域の健康課題把握のプロセスを学ぶことが出来る (2) データの読み取りと分析をとおして地域診断を実践出来る
日時	平成29年8月7日（月）～ 8月8日（火）
内容	講義Ⅰ「成果につなげる保健活動～地域診断を進める上での基本を学ぶ～」 講義Ⅱ・演習「KDBを用いたデータ分析と活用～データの読み取りについて～」 国立保健医療科学院生涯健康研究部 部長 横山 徹爾 氏 * 事前課題によりデータ作成、データ抽出、読みとりを実施
会場	宗谷総合振興局 講堂
主催	北海道市町村保健活動連絡協議会 北海道宗谷総合振興局

# ブロック研究会「市町村保健活動研究会in宗谷」

## 研修評価方法

- 事前アンケート及び事後アンケートを実施
- 研修後に共催の稚内保健所等との事業評価会議を実施

## 評価内容

- ・参加者46名（保健師が約8割）
- ・事前アンケートでは、「データ読みとりや解釈」、「質的データの活用」「健康課題の明確化」の難しさが多くあげられていた
- ・事後アンケートでは、9割以上がデータの選択、読みとり、質的データの分析等が健康課題の明確化のプロセスを理解し、所属で実践できると回答
- ・健康課題の明確化は保健事業の根幹となり、保健活動を展開する上でも基本となることから、複数参加が可能となる札幌以外の地域でのブロック研究会のテーマとして実施できたことは意義が大きい
- ・今回初めてとなる道立保健所との共催により、研修終了後の市町村の残された課題、悩みに対して細やかな支援が展開され、支援の継続性が担保されたことは大きなメリットであり、今後の市町村への連携支援においても重要



## 今後の北海道との連携による保険者支援

- 北海道庁との連携強化
- 北海道（圏域等）の医療費、KDBデータ等の実態や課題等の見える化と施策への反映
- 道立保健所との協働による保険者（市町村）支援の体制づくり
- 効果的、効率的な保健事業展開に向けた人材育成、研修実施**
- 国保連合会の事務局機能の強化

